

平成 30 年度文化事業についての評価（まとめ）

平成 30 年度文化事業数	205
奈良市実施事業	5
文化施設（指定管理者等）実施事業	200

※主にイベントやプログラムを事業数として計上。

■ 事業評価シート対象事業について

平成 30 年度事業については、各文化施設が 3 事業ずつを評価対象にした。評価対象となる事業は、①事業費規模が大きい事業 ②事業のターゲット（対象者、参加者等）を特に定めている事業 ③施設として評価してほしい事業を施設にて選択している。

また、文化振興計画推進委員会委員による視察評価も実施した。視察対象事業については、委員によるコメントを事業評価シートの「評価」欄に記入した。

■ 事業評価シートから

「重点対象に対する課題解決につながった」が低い事業が散見される。そもそも重点対象として広範囲に設定している事業が多い。これは、できるだけ広く参加者を募りたいという狙いによるものであるが、一方で事業の意義を再確認し、適切なターゲット設定を行うことが求められる。

昨年度と比較したところ、特に教育機関との事業連携を進めようという取組み（課外授業での来館、大学との連携講座など）が増えている。来館者数が減少する文化施設が多いなか、施設担当者の意識も外へと向いていることが感じられる。施設を拠点としたアウトリーチ活動への意識を高めていきたい。

■ 次期奈良市文化振興計画について

本計画は平成 32 年度までが期間となっており、次期計画策定のためにはさらに深い現状分析が必要となる。

文化振興計画における各項目別 現状と課題

■ 市民の文化に対する意識の高揚に関すること

市民の自主的なコンサートや各種展覧会を実施している。またさまざまな分野において、文化講演会・文化講座・教室等を実施することで、市民の文化活動の活性化を促している。

＜主な事業＞

奈良市実施事業／なら・あーと・スペース（市役所等）

奈良市美術館／奈良市美術家展、市展なら、市民実技講座

なら 100 年会館／哲夫の仏教講座、コーラス教室

北部会館市民文化ホール／高の原文化講座、高の原カルチャーサロン

入江泰吉記念奈良市写真美術館／ワンポイントアドバイス事業

名勝大乘院庭園文化館／庭園講座・庭園研究講座、文化サロン・文化講演会

奈良市音声館／ミュージックフェスティバル

【平成 30 年度について】

（ホール等での事業）

奈良市音声館では音楽や舞踊に親しんでいる個人・団体を対象に、気軽に出演できるステージイベントを開催した。目標を超える出演者数を得ることができたが、一方で市民の方が気軽に活動発表をできる場が少ないことが考えられる。

（美術館等での事業）

奈良市美術館では、「市展なら」など、制作活動発表の場を主催事業として展開するほか、展示室の貸出により、自主的な展覧会実施を促している。若い世代の方の出品・利用は少なく、今後の課題である。

（講演、講座、教室等の事業）

講師こそ違いますが企画趣旨が固定化しており、マンネリ化ともいえる事業も見受けられる。採算性の問題などもあり、大幅な企画変更を避ける傾向にある。

■ 芸術鑑賞等広く市民が文化に接する機会の拡充に関すること

ホールや美術館において、さまざまな分野のコンサートや展覧会を実施している。また、バリアフリーコンサートやファミリーコンサート等、芸術鑑賞の機会を得にくい市民が参加しやすいプログラムの実施が増えている。

＜主な事業＞

奈良市実施事業／奈良市アートプロジェクト「古都祝奈良」

なら 100 年会館／万葉オペラ・ラボ公演、よちよちコンサート、バリアフリーコンサート

西部会館市民ホール／バリアフリーコンサート

ならまちセンター／篝火コンサート

奈良市美術館／奈良を観る～奈良公園の観光と美術を巡る～

杉岡華邨書道美術館／「かな作家のさまざま」展

【平成 30 年度について】

（ホール等での事業）

親子向けコンサートなどが各ホールで企画開催されている。各地域で開催することで、地域的な偏りをないようにと考えているが、一部では集客に苦勞している事業もあり、実施日程や回数などを検討していく必要がある。

（美術館等での事業）

平成 30 年度、市美術館はミ・ナール開館に伴う、再オープンを迎えた。学芸員の不足や館長の不在などにより事業展開が難しい部分がある。なお、令和元年度については外部人材を活用した企画展開を進めている。

（その他）

平成 30 年度より奈良市アートプロジェクト「古都祝奈良」では、グリーン・マウンテン・カレッジという「学び合い」の場を提供するプログラムをはじめた。今後は、観光・産業など文化芸術分野以外にも波及するような展開が求められる。

■ 伝統文化の保存、普及及び継承に関すること

伝統芸能や春日若宮おん祭などの伝統行事などの魅力を伝える事業を実施。音声館でのわらべうた教室やこども邦楽教室など、若い世代が伝統文化に触れる機会を提供する事業が多い。

また、伝統文化とは異なるが、各施設で行われている落語会は参加者の満足度が高い。

<主な事業>

音声館／わらべうた教室、こども邦楽教室、こどもお茶教室

なら 100 年会館／伝統芸能こども文化祭、能楽普及事業、能楽みどころ講座、落語会

ならまちセンター／落語フェスタ

北部会館市民文化ホール／桂文我のおやこ寄席

入江泰吉旧居／お抹茶でひとやすみ

【平成 30 年度について】

伝統文化に関わる事業は変わらず各施設で実施しているが、特に教室系の事業については参加者数の確保に苦勞している。

■ 文化を担う人材の育成に関すること

なら 100 年会館や北部会館市民文化ホールでは、若手音楽家の活躍の場となる事業を展開している。

また、写真美術館では写真賞の実施や新進気鋭の写真家による展示などを行っている。

<主な事業>

なら 100 年会館／若手演奏家育成コンサート

北部会館市民文化ホール／明日へ輝くコンサート

写真美術館・奈良市実施事業／入江泰吉記念写真賞

【平成 30 年度について】

平成 30 年度は入江泰吉記念写真賞（隔年開催）を開催し、若手写真家の活動支援として写真集の制作などを行った。写真のみならず、各分野において若手芸術家の支援が求められる。

■ 青少年の文化活動の支援に関すること

青少年が国際文化交流の活動を行う場として「東アジア文化創造 NARA クラス」を実施した。美術館施設においても青少年の文化活動成果を発表する場を提供している。

＜主な事業＞

奈良市実施事業／青少年と創る演劇（古都祝奈良）、東アジア文化創造 NARA クラス

入江泰吉記念奈良市写真美術館／高等学校総合文化祭 写真部門展・選考写真展

奈良市美術館／新春造形まつり 奈良市児童生徒作品展

【平成 30 年度について】

奈良市主催事業の「東アジア文化創造 NARA クラス」は、平成 29 年度から継続実施している。また、各美術館で青少年による展示企画を実施しているが、青少年を対象とする事業数は少なく、今後の課題である。

■ 学校教育における文化活動の支援に関すること

音声館では、幼稚園を中心にわらべうた指導者が出張し、生徒や児童、園児やその保護者、教員等へわらべうたを教える指導者派遣事業を行った。

また、写真美術館では課外授業に展示見学を取り入れてもらうなど、教育機関へのアプローチを進めている。

＜主な事業＞

音声館／わらべうた教室（指導者派遣）

なら 100 年会館／アウトリーチ事業

奈良市写真美術館／課外授業（古都奈良の文化財総集編）

【平成 30 年度について】

教育機関と連携しようという文化施設での意識が高まっている。一方で、連携を企画したものうまくいかなかったところもあり、連携相手のニーズを踏まえた企画展開を行っていく必要がある。

■ 子どもたちの情操を高める文化環境の整備に関すること

ファミリーコンサートをはじめ、小さな子ども連れでも参加できるコンサート等の実施。

また、入江泰吉記念奈良市写真美術館の高畑探検隊や、ならまちセンター謎解きラリーなど、参加者体験型のプログラムも実施した。

＜主な事業＞

なら 100 年会館／親子で楽しむよちよちコンサート
北部会館市民文化ホール／キッズスペシャルコンサート
奈良市美術館／親と子のやさしいアート体験
ならまちセンター／謎解きラリー
入江泰吉記念奈良市写真美術館／高畑探検隊 15
入江泰吉旧居／夏休み親子ピンホールカメラ教室（全 2 回）／ピンホールカメラ体験（全 1 回）

【平成 30 年度について】

各施設でそれぞれの分野に関する子ども向け企画を展開している。
体験型のプログラムは 1 回あたりの参加者数を増やすことができないものもあり、量的な成果としてはあがりにくい。

■ 文化に係る交流の促進に関すること

音声館のわらべうた教室のような世代間交流を図ることができる事業や、北部会館市民文化ホールの地域団体との交流事業などを展開した。

＜主な事業＞

音声館／わらべうた教室、ミュージックフェスティバル
北部会館市民文化ホール／ニュータウンフェスタかのはら、平城ニュータウン文化祭

【平成 30 年度について】

地域の文化団体と協働で企画を実施するなど、文化振興の地域拠点として取組みを進めている。